

地域医療連携室 NEWS

平成 26 年 4 月発行 第 25 号
医療法人札幌清田病院 地域医療連携室

第 33 回地域健康セミナーを実施しました！

「小さな創で、からだにやさしい単孔式腹腔鏡手術」

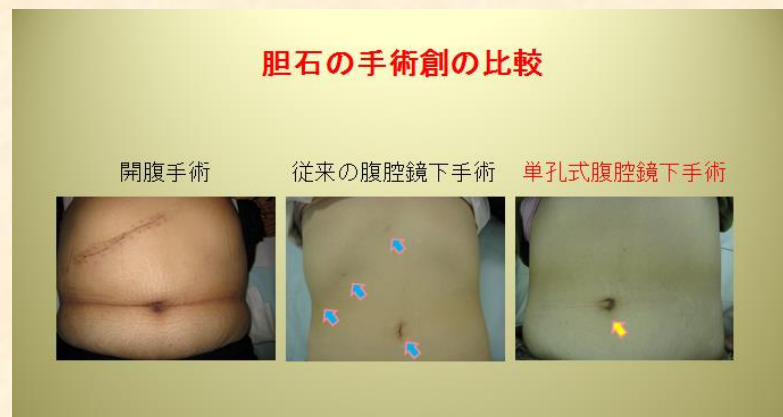
平成 26 年 3 月 14 日（金）14：30～15：30 当院 2 階会議室にて医師の矢野智之を講師として、地域健康セミナーを開催しました。26 名の方にご参加頂き、ありがとうございました。

ちょっぴりですが講演のダイジェストをお伝えします★

腹腔鏡手術とは、お腹に小さな穴を数カ所開けて、炭酸ガスで膨らませたお腹の中に小型のカメラがついた腹腔鏡を挿入し、お腹の様子をテレビモニターで見ながら手術を行う方法のことを言います。実際に腹腔鏡用の鉗子や手術中の風景などを画像や、胆石や胃癌の手術創を開腹手術と腹腔鏡下手術で違いも見て頂きました。腹腔鏡手術の利点は、手術後の癒着の発生が開腹の場合に比べ大変少なく、創が小さく痛みが少ないので早期退院が可能です。



本日のテーマの単孔式腹腔鏡手術は最先端の治療であり、いかに小さな創で手術を行えるかを追求した手術の手法で、清田病院では2009年10月、胆石症に導入されました。誰でもどんな病気でもこの手術で治せるわけではありません。肥満、炎症がひどい、癌が進行している、解剖的に困難な場合は適応にはなりません。



胆石、鼠径ヘルニア(脱腸)、虫垂炎(盲腸)、大腸癌などはたった一つの創で治せる可能性が充分にあります。これに加えて、胃、膵臓、肝臓、脾臓などの癌を含む腫瘍でも通常の腹腔鏡手術(小さな創が3～4か所)で治せる可能性があります。どの疾患でも、放置して病変や炎症等がひどくなると大きな創になることがありますので、心配な方は早めに外科までご相談下さい。

次回は、平成 26 年 4 月 18 日(金)『胃カメラについて』をテーマに、消化器内科医師の宮島 治也より、お話をさせていただきます。皆様のご参加お待ちしております。

平成 26 年 4 月発行 第 25 号

〒004-0831 札幌市清田区真栄 1 条 1 丁目 1-1 地域医療連携室

電話 011-883-6111 (代表) 011-883-6114 (直通)

発行責任者：医療法人札幌清田病院 地域医療連携室室長 井原康二 (副院長)